

## 令和3年度事業報告について

### 令和3年度公益社団法人宮津与謝広域シルバー人材センター事業報告

#### I 総括的事項

世界各国において新型コロナウイルスの流行が終息せず、日本においても経済の冷え込みと、物価の上昇により国民の生活不安は益々厳しい状況となっています。今後も、先を見通すことが困難な状況であり、引き続き、日本の社会経済は停滞感の強い状況が続くものと見られます。

当シルバー人材センター（以下「センター」という。）においても、令和2年度に観光、宿泊、飲食などの一般企業分野で休業が相次ぎ、管理、運転、清掃などの分野で契約が落ち込むとともに、公共事業発注の打ち切りなどにより、事業実績は底を打つ状況にありましたが、令和3年度においては、何とか回復傾向にあり前年度を上回ることができました。しかしながら、コロナ前の令和元年度まで回復するには至らず、引き続き厳しい事業運営が予想されるところです。

このような中、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、一丸となって事業推進に取り組んだ結果、決算においては請負・委任事業、派遣事業とも当初の収入見込を上回ることができ、昨年が続いて赤字決算を回避することができました。

請負・委任事業においては、前年に引き続き夏場の猛暑により、会員の就業や作業スケジュールにも大きく影響を及ぼしました。また、傷害事故が2件、物損事故が1件発生しました。課題としていた飛び

石による事故は1件に留まりましたが、熱中症等による救急搬送が2件発生しましたので、今後、夏場の就業には十分注意する必要があります。

派遣事業においては、令和3年度に新規契約が3件ありましたので、事業実績は令和2年度対比で65%を超える大きな伸びとなりました。

独自事業については、弁当グラン・マのグループによる健康弁当配食事業に取り組んでおり、女性会員の就業の場、生きがいの場として定着しています。令和3年度は、5,414食を売り上げることができ、当初の目標としていた4,500食を上回ることができました。

シルバー人材センターの基盤である会員数の拡大については、65歳までの定年延長や継続雇用制度の導入などで新規の入会者が減少傾向にある中、31人の入会があったものの、病気、高齢化等の理由により55人が退会され、本年度末の会員数は348人に留まりました。前年度末と比べ24人の減少となっており、毎月の入会説明会の開催や管内全戸へ新聞折込を年2回行うなど取り組みましたが、年度末に多くの退会が集中したことが大きな要因と考えています。

一方、会員の就業状況につきましては、就業実人数は306人で、前年度と比べ14人減員となり、会員の就業率は87.9%で、前年度比で1.9ポイント上回る結果となりました。

事業実績は、請負・委任事業の受注金額が1億4,700万円であり、前年度より457万円の伸びとなりました。また、受託件数は4,653件で、前年度を若干72件下回る結果となりました。派遣事業は、請負から派遣への切替や新規契約に取り組んだ結果、本年度実績

は前年度から573万円と大きく増加し、1,450万円となりました。請負・委任事業と派遣事業を合わせた受注金額は、本年度1億6,151万円で、昨年度比1,031万円の伸びとなり、新型コロナウイルスの影響と公共受注の減少で大きく落ち込んでいた契約実績から若干回復することができました。

しかしながら、請負・委任、派遣事業とも回復傾向にはあるものの、まだまだ厳しい状況が続いていますので、令和4年度においても引き続き関係市町に公共事業の発注をお願いするとともに、地域の事業所並びに住民の皆様にシルバーへの依頼を呼びかけるなど、受注の拡大に向けてより一層理解と協力を求めていく必要があります。

今後も、コロナ禍の影響から回復するには長期間を要すると思われませんが、引き続き会員、役職員一人ひとりが知恵を出し合い、地域社会に貢献しながら総力を挙げて活力あるセンターの形成に努めていかなければなりません。

以下に、主な事業概要について報告いたします。

## Ⅱ 事業概要

### 1 組織体制の充実・強化に関すること

- (1) 理事会及び各種委員会、地域班役員会、職群班会議等を開催し、それぞれ業務の運営に積極的に努めました。
- (2) 会員相互の連帯意識や就業機会の拡大を図るため、地域班班長会議を2か月に1回開催し、会員の意見を幅広く聴く機会を設けました。例年開催している地域班会員懇談会は、新型コロナウイルスの流行により開催を見合わせました。
- (3) 地域社会とともに歩むセンターを目指して取り組んでいる普及啓発活動は、公共団体等のイベント開催がコロナ禍の影響から相次いで中止となったため、宮津市内での1回の実施となりました。公共施設でのボランティア活動については、宮津市役所及び府中公園、与謝野町加悦庁舎において実施することができました。

### 2 会員の増強促進

- (1) 会員の増強は、センター活動の大きな柱であるため、一般住民向けに剪定講習会、整理収納と終活講習会を開催したところ、6名の参加がありましたが入会にはつながりませんでした。また、4月及び10月の年2回、管内全戸に会員募集チラシの折込みや行政広報紙への毎月掲載を行うなど加入促進の取り組みを行い、一定の効果がありました。
- (2) 入会希望者に対する説明会を毎月20日及び臨時に開催しました。その結果、入会説明会の参加者は年間合計で46人、月

平均は3.8人で、前年度末から微減の会員数で推移していましたが、3月に退会者が17名あったため、令和4年3月31日現在の会員数は348人まで減少しました。内訳は男性248人、女性100人、平均年齢は男性73.8歳、女性74.0歳、全体では73.8歳となっています。

### 3 就業開拓と拡大

(1) センター活動の更なる発展と会員が希望する就業を提供するため、関係市町長に運営費補助金の引上げ、及び受注が減少している公共事業の発注拡大などの要望活動を行いました。

また、京都府シルバー人材センター連合会、京丹後市シルバー人材センターと共に、京都府丹後広域振興局長に対し、運営補助金の継続及び公共事業の発注拡大などの要望書を提出しました。

(2) 会員主導型の就業を念頭に、職群班の確保と体制強化を図るため職群班班長会議を開催し、発注者の要望に応えられる体制づくりと会員の仲間意識の高揚、機能の充実や安全指導、さらには後継者確保に努めました。

### 4 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

介護予防・日常生活支援総合事業を受託し、スムーズな事業運営と利用者へのきめ細やかな対応ができるよう月1回の定例会・研修会を開催しました。事業の実績では、宮津市及び与謝野町で29名（年度末現在）の利用者があり、延べ利用回数は1,

489回、契約金額は297万円で、前年度を下回りましたが、地域福祉に大きく貢献することができました。

#### 介護予防・日常生活支援総合事業の実績

項目	年度	宮津市	伊根町	与謝野町	合計
利用者数 年度末（人）	令和3年度	19	—	10	29
	令和2年度	26	—	9	35
増減		△7	—	1	△6
延利用回数 （回）	令和3年度	953	—	536	1,489
	令和2年度	1,345	—	543	1,888
増減		△392	—	△7	△399
契約金額 （千円）	令和3年度	1,906	—	1,072	2,978
	令和2年度	2,690	—	1,086	3,776
増減		△784	—	△14	△798

## 5 独自事業の推進

### （1）シルバー健康弁当の推進

平成29年度から開始した弁当グラン・マのグループによるシルバー健康弁当は、令和3年度に5年目を迎え、平成31年1月にセンター内に整備した新しい調理室を拠点に積極的に活動し、毎週金曜日は100食をお届けできるようになりました。令和3年度においては、目標としていた4,500食を大きく超える5,414食を売り上げることができ、今後も唯一の独自事業として

推進します。

- ・販売日 定例の販売日は毎週金曜日とし、他に注文に応じて配食を実施
- ・就業実人数 10人（令和4年3月31日現在）
- ・月活動回数 4回～8回 計71回／年  
金曜日のほか注文に応じて配食日を追加
- ・販売数 5,414食  
（1回あたり平均販売数76食）
- ・販売金額 2,882,380円

## 6 普及啓発活動の推進

- (1) 広報紙「宮津与謝広域シルバーだより」を年2回発行し、管内の各家庭、事業所等にセンターの運営状況や管内施設の紹介など地域情報を広報するとともに、積極的に会員募集、仕事募集を行いました。
- (2) 全国一斉「シルバーの日」として設定された10月の「普及啓発促進月間」の取り組みは、コロナ禍でイベントが相次いで中止となったため、宮津市内での啓発活動1回、管内3か所の公共施設で清掃・剪定作業を行う社会奉仕活動を実施しました。

## 7 安全・適正就業対策の推進

- (1) 安全・適正就業委員会を開催し、安全はセンター事業の基盤であり、全てに優先することを全会員に周知徹底するため、安全パトロールの実施や安全心得10ヶ条の制定などを行い、就業環

境の確認と安全・適正就業の徹底を図りました。

- (2) 草刈り、植木剪定作業では安全用具の着用や安全就業基準の遵守、防護ネット活用等の指導を行いました。特に例年多く発生している機械除草作業の飛び石事故防止に注意喚起を強化し、1件（昨年度3件）に留まるなど、発生件数を減少することができました。

全体の事故発生件数は以下のとおりです。

事故発生件数

傷害事故 2件（昨年度 1件）

物損事故 1件（昨年度 4件）

計 3件（昨年度 5件）

## 8 会員の就業に関する講習会・研修会の実施

高齢者活躍人材確保育成事業として、京都府連合会と連携して後継者が不足している植木剪定講習会（受講者7名 内非会員3名）や整理収納と心の終活講習会（受講者17名 内非会員3名）を実施し、地域の高齢者等の雇用・就業機会の確保及び会員獲得に取り組みました。

また、京都府が主催して開催された人権研修会に、一般会員76名を始め、地域班及び職群班長、役職員合わせ113名が積極的に参加し、同和問題についての研修を深めました。

## 9 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の推進

当センターに、京都府連合会が行う一般労働者派遣事業（シル

バー派遣事業)の宮津与謝事務所を置き、派遣業務を実施しました。主な職種は自動車運転、保育補助、JA作業などとなっており、令和3年度の実績は、契約件数13件、契約金額は1,450万円で、新規契約が3件ありましたので受注額は昨年度比573万円の大きな増加となりました。

#### 派遣労働者事業の実績

項目	契約件数 (件)	契約金額 (千円)	就業実人員 (人)	就業率 (%)	就業延人員 (人)
令和3年度	13	14,503	35	71.4	1,967
令和2年度	12	8,772	27	58.7	1,394
増減数	1	5,731	8	—	573
増減率(%)	8.3	65.3	29.6	—	41.1

## 10 有料職業紹介事業の推進

京都府連合会が行う職業紹介における臨時的かつ短期的な雇用による就業、またはその他軽易な業務に係る就業拡大に努めましたが、職業紹介の実績はありませんでした。

## 11 個人情報の保護

「個人情報の保護に関する規程」に基づき、個人情報を取得するときは利用目的を明示し、第三者への個人情報は会員の同意を得るなど、個人情報の運用・管理を徹底しました。

また、入会申込書の個人情報について記載内容を見直し、必要

最小限の情報に改めました。

## 12 健全な財政運営と運営基盤の強化

財政運営が厳しいため、引き続き職員数の抑制（1名減）と事務局経費の節減、効率的な業務運営に努めるとともに、毎月決算時において財政の収支状況を見通し、理事会へ報告するなど、財政管理を行いました。受託事業収入については、その早期回収と積極的な受注に心掛けました。

また、地域班、職群班の会議を重ね、体制強化と会員相互の連携を深め、運営基盤の強化に努めました。

## 13 事務局機能の充実・強化

令和2年度から職員体制を8名から7名に減員しましたが、各職員とも経験を最大限に生かしながら相互に協力することで、事務局運営を維持することができました。また、毎朝の朝礼や事務局内での報告・相談などを密にし、情報共有に努めました。職員資質の向上については、関係機関主催の職員研修会に積極的に参加させ、職員の事務処理能力の向上に努めました。